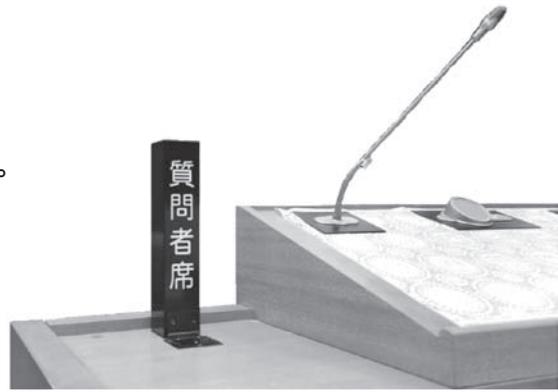


# 市政一般質問

9月定例会では13名の議員が質問を行いました。  
主な内容をご紹介します。



## 防犯・防災

### 大村市の土砂災害防止対策 について

廣瀬 政和 議員

**Q** 近年、異常気象によりゲリラ豪雨やスーパー台風が多発し、今年も広島市の大雨をはじめ、全国的に被害が多発した。本市は比較的、災害の少ないところと言われているが、安心はできない。本市の防災に対する体制や市民への情報伝達、避難誘導、避難場所の安全確保等の対応について尋ねる。

**A** 市民への防災情報の伝達については、テレビやラジオなどにより周知を図るが、今後整備する防災行政無線は効果を発揮すると思っている。また、避難誘導については、夜間の避難は困難であるため、明るい時間帯に避難ができるような情報伝達が最良と考えている。また、避難場所の安全確保については、積算雨量をもとに早めの情報伝達や状況に応じて安全な場所に避難できるように考えている。

## 交通問題について

朝長 英美 議員

**Q** 小中学校の児童生徒の自転車免許制度の実施は可能であるか。また、市内のコンビニなどに自転車の空気入れの設置はできないか。また、ボランティアによる自転車の点検を各公民館での実施はできないか。また、自転車用ヘルメット購入に対する補助を行うことはできないか。また、大村市自転車の安全利用及び放置等の防止に関する条例の成果は出ているのか。

**A** 自転車利用のルールについては、各学校で定められているが、全的に統一ルールを定めることは可能と考える。また、コンビニ等への自転車の空気入れの設置や自転車用ヘルメット購入に対する補助については、導入している自治体を調査したい。また、ボランティアによる自転車の点検については、開催場所をかやしたい。また、条例の成果については、8月時点での放置自転車は駅前等で54台、公園等で3台確認しており、対応中である。

## 災害時の避難場所の 整備について

水上 亨 議員

**Q** 近年、局地的な集中豪雨による土砂災害や河川の氾濫等による災害が全国的に発生している。本市では災害時に避難する施設として47カ所が指定されている。台風時には強風による被害を防ぐことができる安全安心な避難所としての施設となっているのか。また、避難された方が情報を得るための受信設備等を整備しておくべきである。

**A** 避難所には出張所もあるため、避難所としての観点から再度点検し、不具合な箇所については対応したい。また、テレビの設置については、配線が可能なかを含め点検し、ある程度長期間の避難所生活になれば調達したいと考えている。また、ラジオについては、今後整備予定の防災行政無線対応のラジオを各避難所に設置したい。